

相談員日記

広野町放射線相談室

室長 鈴木洋四雄 様



(1) 広野町放射線相談室の活動内容

広野町放射線相談室は平成 26 年 11 月から始まりました。いわき市に 4ヶ所あった仮設住宅の集会所で月 1 回の相談会・D シャトルの読み取りと、帰町住民を対象にした社協主催の「地区の集い」(私が広野町社協の前会長を務めていたこともあり、現社協と協働して活動)で放射線相談会を行っていました。

平成 28 年度までは、地元食材を使った食の研修会や檜葉木戸ダム・小山浄水場への見学など放射線の不安や関心に応える活動が多かったのですが、最近では、「広野町における放射線の状況については安全であることの確認ができたが、福島第一原子力発電所がどうなっているか」、「廃炉の現状等を知りたい」という声があり、平成 29 年度は 14 回の福島第一原子力発電所の見学会を行いました。参加者からは、「直接自分の目で見、話を聞いて、廃炉は思ったより進んでいる」、「作業員の服装も軽装で安心した」という声が寄せられました。

(2) 放射線相談員としての悩み

難しいと思っていることは、子供を持つ若い世代にどうアプローチをしていくかです。社協や役場の繋がりでは高齢の方たちに声を掛けやすいのですが、若い世代に対してのパイプがないのです。1度、学校関係者と学生、父兄を集めて講演会をしましたが、こちらから一方的に話すだけでは効果が上がらないと思いました。少人数で集まりお茶を飲みながら話すくらいの規模で行うのが一番良いと思うのですが、子供を持つ世代にどうアプローチするか、どう興味を持ってもらうのかが、今後の大きな課題のひとつだと思います。

